

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 11 月 7 日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103250		
法人名	株式会社 ユニケア		
事業所名	アトラス馬木		
所在地	松山市馬木町2174番地	(電話) 089-978-4200	
管理者	川口 寛之		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 9 月 30 日	評価確定日	平成 20 年 11 月 14 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 9 月 5 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 4 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	21 人	常勤 13 人, 非常勤 8 人, 常勤換算	18.2 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	5,000 円
敷金	有()円 ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無	
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	300 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 9 月 5 日事業所記入)

利用者人数	27 名	男性 4 名	女性 23 名
要介護 1	5 名	要介護 2	8 名
要介護 3	5 名	要介護 4	7 名
要介護 5	2 名	要支援 2	名
年齢	平均 81.6 歳	最低 72 歳	最高 98 歳

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

近くを線路が走る、住宅に囲まれたお洒落な佇まいのホームであり、広い庭には季節の花が美しく咲いている。リハビリ室では毎日体調に応じて看護師や作業療法士による機能訓練を受けることができ、それにより状態の良くなった利用者も多い。心地よい入浴の支援に心がけており、利用者の状態に合わせた入浴ができるよう、機械浴も備えている。利用者から人生の先輩として学ぶことは数多くあり、感謝の心で言葉かけを忘れることは無い。スタッフは明るく元気で仲良く助け合う姿が印象的である。一人ひとりを尊重し、いきいきと心豊かにその人らしく生活し、地域の中で共に暮らす姿勢は、安堵に満ちた利用者の表情からもうかがえる。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
地域との関わりが課題として挙げられていたが、今年に入り運営推進会議に町内会長・公民館長・行政職員などの出席者を得て、信頼関係の深まりが見られるため、会議を通して関わりが軌道に乗っていくことが期待される。
▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
評価の意義や目的を全職員が理解した上で、自己評価に前向きに取り組んでいる。施設長や管理者は、職員の考えや意見を傾聴し、自己評価をまとめ上げている。次回は全職員が一つひとつの項目を文章で表現する試みもプラスする計画であり、期待できる。
▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
運営推進会議を、報告の場にとどめることなくテーマを決めて学習する場としても機能させることにより、さらなる展開が期待できるため、地域とのつながりを作る大切な会議を有効に活用していくことを期待したい。
▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
苦情への対応については重要事項説明書に明記し、本人及び家族に説明している。施設長を中心に、職員は家族に信頼されるよう、何でも話せる雰囲気づくりに努めている。意見や苦情は真摯に受け止めて改善に取り組み、記録にも残している。
▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
町内会に加入している。ホームで飼っている犬は、地域の方との付き合いの深まりに主役となって活躍している。誕生会では保育園児の踊り、手話の披露もある。広い畑の作物を地域の方に差し上げたり、地域の方からも差し入れを頂いたりしている。運営推進会議等を活用し、今後さらに地域と密に連携していくことが期待できる。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 アトラス馬木

(ユニット名) Bユニット

記入者(管理者)
氏名 川口 寛之

評価完了日 平成 20 年 9 月 5 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域の中で共に暮らして行けること、個人の意見を尊重すること、を理念に掲げており、出来る限り地域行事への参加を行っている。 (外部評価) 「個人を尊重し、その人らしい生活を支援します。地域の中で共に暮らしていけるよう支援します。」の理念は、昨年作り変えられた。理念を軸に、利用者を主体として柔軟性のあるサービスの提供に日々努めている。	※	行事がなくても、互いに行き来できる施設にしていきたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念は職員皆心得ており、ミーティングや勉強会を通じ理念への実践に向け取り組んでいる。 (外部評価) 切れ目のない、その人らしくより豊かに生きることが可能な支援ができるよう、職員は理念を理解・共有し、ミーティングで討議したり月1回の勉強会において担当制でテーマを掲げ、研鑽を積んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議に町内会長や公民館長、また、家族の方の参加をいただいております。当施設の理念は理解してもらえていると思う。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日頃の散歩や近くの公園の掃除をしていく中で、気軽に挨拶が出来る環境が出来つつある。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の年間行事を教えていただいております。また、地域の方より声もかかるようになってきている。 (外部評価) 地域の中のホームという自覚を持ち、「地域と関わりたい」と、常日頃から機会を捉えて取り組んでいる。地域の運動会には積極的に参加し、夏祭りでも近所の方との交流を図っている。飼い犬の散歩は、近所の方とふれあうきっかけとして重要な機会となっている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 施設や専門的知識を活用し、高齢者のために出来る事はたくさんあるが、実際には何もできていないのが現状である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 毎年の評価で指摘された箇所は運営者、また、職員等も周知しておりその都度改善に向け、取り組んできている。 (外部評価) 全職員で前向きに評価に取り組む姿勢が感じられる。意見を出し合い、施設長を中心にまとめ上げている。前回評価の改善にも積極的に取り組んでいる。	※	今回は職員のレベルアップやサービスの質の向上のためにも、職員一人ひとりが各項目を丁寧に文章で表わし、悩み考えながら相談しあう時間を持つ取り組みにも期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議に町内会長や公民館長、また、家族の方の参加をいただいております利用者やサービスの実際、評価への取り組みと、その結果についても報告を行っている。		
			(外部評価) 2か月に1回実施し、議事録に参加者・議題・内容などを細かく記録して保存している。施設長は充実した内容を目標に掲げ、アイデアを思案中である。	※	地域の理解や支援を得るための貴重な会議にするため、また利用者へのサービス向上に繋げるため、様々な内容での討議や学習の機会とすることを期待したい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議以外ではあまり接することがなく、行き来する機会はつくれていない。	※	職員間で話し合いを行い、今後の取り組みを考えていきたい。
			(外部評価) 現在のところ、ホームの運営上大きな課題も無く落ち着いた状態であるが、今後課題が生じるなどして解決を図る際には市担当者に積極的に理解や支援を求めていくことにしている。消防署とは、防災対策について連絡を取り合っている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 地域権利擁護事業や成年後見制度について、職員皆、理解しており必要であれば、活用できる体制にある。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待について、職員皆周知しており、防止に向け取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所される前に、十分な説明を行い対応できている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 常に利用者の声を聞き入れ、自分らしい生活が送れるよう支援している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、利用者の金銭管理を行い家族の方へ報告している。また、健康診断の結果報告、職員移動についてもその都度、報告できている。 <hr/> (外部評価) 家族がホームを訪れた時には積極的に声をかけ、利用者の暮らしぶりや健康状態について報告している。金銭管理については月1回報告している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 施設の入り口に意見箱を設置しており、常に意見を聞ける体制にある。また、出た意見は職員間で話し合い、改善に努めている。 <hr/> (外部評価) 施設長の傾聴する姿勢には安心感があり、家族との対応でも相手の立場に立って接していることがうかがえる。職員との信頼関係が築かれ、相談しやすい雰囲気になるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 常に職員の声を聞ける状態にあり、出た意見は皆で検討し、改善に努めている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者などの状況に応じて余分人数を増やす、必要な時間帯への勤務変更等の調整を行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 移動は最小限に抑え、利用者への不安がないような体制をとっている。移動になった際は、利用者へ十分な説明を行い不安が最小限に抑えられるよう対応している。 (外部評価) 離職や異動はあるが、声かけなどの職員の配慮により、利用者への影響は見受けられない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 個人に応じ研修会への参加を行ったり、地域で行われる研修会への参加等行っており、職員のレベルアップに努めている。 (外部評価) ホーム内で月1回勉強会を開催したり、ケアマネジャーにアドバイスをもらう機会を設けるなど、職員を育てる取り組みがある。職員の育成に対して深い理解と熱意があり、各職員にふさわしいテーマの研修会への参加を勧め、研修後の記録・伝達も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 同業者の交流会などへの参加を行い、交流できる機会を持つと共に、サービスの向上に努めている。 (外部評価) グループホーム連絡協議会の研修参加をきっかけに、他のグループホームとの行き来ができるようになり、交流が深まっている。地域包括支援センター主催の交流会に参加することで相互学習の機会も持て、実践的な学習を日々のケアに活かしている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 福利厚生が充実しており、職員への配慮を行っている。また、休みの希望などは、ほぼ100%希望に応えられる体制にある。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者が個人の実績や勤務状況を把握できるシステムが構築されていると共に資格取得のための援助にも、配慮してくれるため各人が向上心をもって仕事に取り組んでいる。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に本人とよく話し合い、傾聴することにより互いに信頼出来る環境を作っている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人と同様に、事前によく話し合いを行い必要に応じた対応が出来る体制をとっている。GHの入所とは違いがある際は、別のサービスがあることをしらせ相談に		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と同様に、事前によく話し合いを行い必要に応じた対応が出来る体制をとっている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人の状態を考慮し、家族の協力もえbながら徐々に生活に馴染んでいただいている。 (外部評価) まず本人や家族にホームを見学してもらうことからはじめ、家族には在宅時どのような生活を送っているか等を聞き、利用者がホームに馴染めるよう、信頼関係を築くことに努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々の生活や外出、外食を通じ共に楽しめる状態をつくと共におしえてもらったり力を貸したりと、互いに学び支えあっている。 (外部評価) 人生の先輩である利用者からは、歌・諺・調理方法など生活の知恵を教わる事が多く、「おかげさまで助かります」「勉強になります」など感謝の言葉や表情で表現している。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 施設の行事にも、ご家族の方に参加していただき、利用者の方と一緒に楽しめる環境をつくると共に家族が困った時は職員が協力し職員も家族に協力を依頼できる体制をつくっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 今まで以上のよりよい関係が保てるよう仲介している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人の意見を聞き入れ外出先を選んだり、また、個人的にも出来る限り、望みが叶えられるよう支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 常に全体の把握に努めており、互いの関係を考慮したレクリエーション活動や関係作りを行っている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所されても関係が保たれるよう、ご家族と連絡を取ったり、他医院に行かれた際においても面会に行くなどしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 毎日の生活の中で、話をしながら本人の思いや希望を把握し、その思いが叶えられるよう取り組んでいる。 (外部評価) 利用者の思いの把握を重視し、日々接する中で気がついたことや希望していることなどを丁寧に汲み取るよう努めている。時間の経過の中で把握できてくることも多く、職員間で共有している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入所時にご家族を交え、これまでの生活歴、好きなもの等きき、入所されてからの生活の反映して行けるよう支援している。センター方式も取り入れていく。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活レベルに応じて、無理なく生活できるようにしている。休みたいときは、ゆっくりしていただき、食事面、入浴面等、出来る配慮は行い、自分のペースでできることをしていただいている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 計画作成担当者の指示のもと、関係のある職員が集合しその方にあった介護計画の作成を介護支援専門員と相談しながらよりよい計画を作成している。 (外部評価) 利用者の日常の様子から気づいたことや意見を出し合い、作成している。家族からは来訪時に希望や話を聞き、立案に有効に活かしている。介護計画は記録ノートに貼り付け、いつでも確認できるよう工夫している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 状態に変化がみられた時は、その都度計画の見直しをおこない対応している。 (外部評価) 介護計画に沿って実施された内容の評価を検討し、継続か見直しかを確認すると共に、要望も付け加えながら時間をかけて取り組んでいる。サービス担当者会議は3か月に1回開催しており、検討、見直しを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日常の様子は、個別に記録している。気づきや状態を記録することで今後の介護計画に役立てている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) リハビリ室や特浴などの設備があり個人の状態に応じて柔軟に支援している。 (外部評価) 「墓参りがしたい」「自宅に帰ってみたい」などの利用者の要望に応じて、多機能性を活かした柔軟な支援に意欲的に取り組んでいる。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域の行事には出来る限り参加しており、よい地域交流になっている。また、運営推進会議にも民生委員、町内会長等参加をいただいております、共に協力しながら支援している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 交流会に参加し、支援していただけるようお願いしている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 本人の思いに添えるよう、必要なときに支援センターに相談にのって貰っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関にも支援していただいているが、本人の意見を尊重し入所前からのかかりつけ医に行っていただくなど配慮している。 (外部評価) 適切な医療の受診を支援しており、職員が受診に同行し、結果は家族にも報告している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力をいただいている専門医がおり、利用者の状態が悪くなった場合においても診断、治療していただける環境にある。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 利用者に何かあった際、異常があれば、医師と相談し連携をとっている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者が入院された際は、小まめに面会に行くなど、常に医師との連携をとり、早期退院にむけ話し合いを行っている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 先年、6月より入所の方は、入所の際に終末期についての話し合いを行っている。 (外部評価) 看取りに関する指針の説明を入居時に行い、同意を得ている。看取りに関する指針による支援を行った経験もあり、職員の自信に繋がっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化の方に対しては、かかりつけ医と入念に話し合いを行い、対応の仕方を教えていただき対応してきた。また、どうしても当事業所において出来ないことが多い場合、医師とも話し合いのもと、本人にとってもっともよい場所はどこか、ご家族を交え、検討している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 住み替えの際は、相手先と事前に十分な話し合いを行い、本人が戸惑うことのないよう努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	(自己評価) 利用者一人ひとりの生活レベルに応じて入浴、排泄、食事等を行っており出来ない所はさりげなく介助するなどし、プライバシーには十分配慮している。介護記録も事務所で記入している。 (外部評価) 居室への入室時には必ず声をかけ、了解を得ている。利用者への声かけは、目線を同じ高さにし、やさしい言葉で行っており、落ち着いた気持ちで会話できるよう配慮している。記録類は、個人情報に配慮して適切に取り扱っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 日常の会話や声掛けにより、利用者の思いや希望を聞き入れ出来る限りかなえられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 日々の生活の中で、強制するのではなく本人の希望を優先し対応できている。お出かけも参加の希望を聞き、本人の意思を大切にしている。 (外部評価) 理念に「その人らしい生活を支援します」とあり、日々のペースに合わせた暮らしができるよう配慮し、穏やかに過ごせるよう支援している。職員は、利用者の希望を取り入れながら、真摯に向き合っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 起床時、入浴後には利用者の好む服装が出来るよう職員は配慮している。定期的な訪問理容を利用したり家族さんの協力を得て行き付け店にて好みの整容をとっていただいている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の声を聞き入れたメニュー作り、また、外食等行い一人ひとり食事を楽しんでいただけるよう配慮している。また、食事作り、配膳、片付け等、各人の適した場面でしていただける利用者には手伝っていただいている。 (外部評価) 利用者同士が助け合いながら和やかな雰囲気での食事の準備をしている姿を見ることができた。当日のメニューの「さつま芋ごはん」は、ホームの畑で収穫したさつま芋を使っていた。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 健康、安全に応じて出来る限り提供している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個人個人の排泄パターンは、職員皆が理解しており、常に汚染することが無いよう心がけている。個人に合わせたトイレ誘導を行っている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴日は決まってはいるが、希望に応じ、可能な方についてはシャワー浴はしていただいている。仙波 (外部評価) ホームの特色の1つである機械浴により、車いすの利用者でも入浴を安心して楽しめる。入浴時間は午前(9:00~12:00)と午後(13:00~16:00)に設けており、順番は希望をうかがうようにしている。毎日の入浴も可能であり、声かけの工夫等により拒否のある方も寛いだ気分ですっきり入浴することができている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 個人の意見を尊重し、その方がやりたいことをやっていただいている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 一人一人に応じた役割分担を行っており、自分の役割を持つことで生活に張りを持っていただいている。 (外部評価) レクリエーション担当者がおり、利用者の希望による楽しみや役割を盛り込んだ年間計画を立て、実施している。外出、外食はストレス発散や気晴らしにも役立っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 希望がある方については、お金を持っていただいている。買い物や外出時には、欲しいものを購入できる体制にある。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 出来る限り、個人の要望を聞き入れ、買い物、散歩、外食等一人一人に応じた支援をしている。 (外部評価) 日常的にスーパーに買い物に行ったり、飼い犬と散歩するほか、利用者一人ひとりにふさわしい外出を日課の中に取り入れている。初詣、花見、果物狩り、菊花展、紅葉狩りなど、ホームの大きいバスで行事の外出も行っている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 個人の要望は出来る限り聞き入れている、皆でいける所は希望をとって小グループで行き、個別の場合は家族さんの協力を得たり買い物のついで等で出かけてもらっている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者のおもいは、出来る限り答えられるような体制をとっている、電話についても家族の制限が無い限り叶えられるよう支援している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 夜勤帯以外は特に面会できない時間はなく、誰もが行き来しやすい環境をつくっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 拘束について職員皆が理解している、やむを得ず身体拘束が必要な方については、事前にご家族の方へ説明を行い期間を決めて実地している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間、防犯の為に施錠を行うが、その他での施錠は行っていない。 (外部評価) 19時から早朝6時までは安全面を考慮して施錠している。帰宅願望のある利用者には、職員の見守りや連携で対応したり、一緒に散歩に出かけ、気持ちが落ち着いたら戻ってくるなど、鍵を掛けないケアに取り組んでいる。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 各人に合わせた方法で昼夜通して様子を把握している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 注意の必要なものは事前に十分説明し、本人の納得のいく方法でこちらで預らせていただいている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりにあった食事の提供、行動の把握もできており誤嚥、行方不明においても取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 勉強会やミーティングを行い、急変時の対応や応急処置は職員皆心得ている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に避難訓練、火災訓練、消化訓練など行っており職員皆があらゆる方法を心得ている。近隣のかたには具体的なお願いはしていないが、日頃の施設の行事や地区の行事への参加を行っており、普通にあいさつが出来る関係ができつつある。 (外部評価) 避難訓練・消火訓練・通報訓練等を年2回行い、夜間想定での訓練も実施している。耐震車体験を計画していたが、天候の関係で実施できなかった。消防署との関わりは深い、地域との連携が十分とは言えない。	※	災害時には地域の協力は必要不可欠であるため、今後は運営推進会議等を通じて協力を求めていくことを期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 一人一人に起こり得るリスクについては、その都度、家族に対して説明し一緒に対応策を考えている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日のバイタルチェック、変化が見られた際は、NS、または協力医療機関に連絡し早急に対応できる体制にある。申し送りも確実に、職員皆が共有できるようになっている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者の処方薬について職員皆周知している。利用者の状況も常に把握し、症状の変化については、NS、協力医療機関等を通じ、常に症状にあった対応ができるような体制にある。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 日々の生活を通じ、常に排便には気をつけている。リハビリにて体を動かし、食事排便がスムーズに行えるようなメニューを取り入れている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアはかかさず行っている、出来ない方は介助し行う。義歯を使用されている方は、週1回の消毒も行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個人個人の体調は常に管理している、食事の摂取状況が悪い方、水分補給が出来にくい方については、1人ひとりに応じ、刻み食で提供したり、水分も摂取しやすいように提供している。 (外部評価) 食材担当者と栄養士とが、利用者の希望を取り入れながらメニューを作っている。利用者の咀嚼の具合を配慮した切り方や形態となっており、色彩も美しい食事を提供している。水分も必要量を確保するよう支援している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 定期的な勉強会やミーティングを行い、マニュアルに添った取り決めを実行している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板、包丁、調理器具等、衛生管理は毎日行っており食中毒の予防を行っている。食材については、賞味期限の切れた食品等は使用しないよう職員すべて周知している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 施設の駐車場や玄関は常に開放されている（夜勤帯を除く）施設の周りには、花を飾ったりしており、ご家族の方、近隣の方などを迎えやすい環境作りを行っている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) クリーンは力を入れて取り組んでいる。毎朝の掃除をはじめ汚染時には、その都度掃除を行い、常に環境は整えている。 (外部評価) 利用者が集う居間はキッチンからも様子がうかがえる。ユニットごとにいすやソファ等で変化をもたせ、明るく心地良い空間を作っている。広く明るいリハビリ室は、ホームの自慢の1つとなっている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) テレビが見たい方はテレビをみて頂き、歌を楽しむ方は歌を聞く（もしくは歌ったり）など広いリビングを活用し、一人一人が自由に過ごしていただけるような体制をとっている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入所の際は、本人のなじみの物の持ち込みをお願いしており本人がなるべく抵抗無く住んでいただけるような環境作りをめざしている。 (外部評価) 家族の協力を得ながらテレビ・使い慣れたタンス・衣類・花などが持ち込まれた居室は、利用者にとってほっとひと息つける空間となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気扇を使用したり、外気を活用し換気には十分配慮している。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 一人一人に応じたテーブルを使用したり、目の見えにくい方にはトイレの近くに居室を設けたり、その方々それぞれに応じた環境を提供している。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 利用者との会話や行動は記録として残し、他のスタッフにも共有できる体制を作っている。個人個人の出来ること、考え方を考慮した体制作りを行っている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 建物の外に畑を作っており、利用者と共に四季折々の野菜の栽培、収穫をおこなっている。また、駐車場は、夏祭りやフリーマーケット等のイベントに活用し利用者共々、楽しく有効に活用している。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価)	① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日常生活や会話を通じ、利用者の思いを汲み取りアセスメントを行うことにより把握している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価)	① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	空いた時間を利用し、レクリエーション（唄、トランプ、しりとりなど）を行い、利用者とのかかわりを大切にしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一日の生活は決まっているが、無理なときは、入浴日でも中止し、食事時間も好みの時間にあわせたりし、利用者のペースにあわせ対応している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の希望を把握し、それに合わせて対応することにより、生き生きとした生活空間をつくっている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の希望を聞き入れ、外出、外食、買い物等を考えており皆さんの行きたい場所へ行けるよう支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力医療機関があり、その都度相談にのってもらっており、利用者皆、不安なく暮らせる体制にある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調の変化や、気分に応じて支援を調節することで、安心かつ満足に暮らしていただいている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価)	1 ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の希望は、出来る限り叶えられるよう配慮している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価)	1 ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	地域の活動や行事に参加をしていくことで、少しずつ地域の方々が訪ねて来てくださるようになってきている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大に増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議に町内会長や公民館長、老人会の方々の参加がいただけるようになってきている。地域とのかかわりが深まりつつある。
98	職員は、生き活きと働いている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	各スタッフの個性を活かし、出来る限りのびのびと仕事出来る環境をつくっている。また、休みの希望は100%叶えられる体制をとっている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の希望に添えるサービス提供に努めることで、利用者からの感謝の声も聞くことが出来る。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	本人の暮らしぶりや出来事を報告したり、家族の思いや希望にも添えるよう努めており、家族からも暖かく支援していただいている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者の皆様には、個人個人に応じて、起立運動、滑車等のリハビリメニューがあり出来る限り毎日行っている。リハビリを行うことにより、筋力、上下肢の維持、向上を図っている。また、互いの行事に参加することにより、少しずつではあるが、地域にとけこんで来ている。今後、更に互いに行き来できる環境をつくって行きたいと思う。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 アトラス馬木

(ユニット名) Cユニット

記入者(管理者)
氏名 菅谷恵子

評価完了日 平成 20 年 9 月 5 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域の中で共に暮らして行けること、個人の意見を尊重すること、を理念に掲げており、出来る限り地域行事への参加を行っている。 (外部評価) 「個人を尊重し、その人らしい生活を支援します。地域の中で共に暮らしていけるよう支援します。」の理念は、昨年作り変えられた。理念を軸に、利用者を主体として柔軟性のあるサービスの提供に日々努めている。	※	行事がなくても、互いに行き来できる施設にしていきたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念は職員皆心得ており、ミーティングや勉強会を通じ理念への実践に向け取り組んでいる。 (外部評価) 切れ目のない、その人らしくより豊かに生きることが可能な支援ができるよう、職員は理念を理解・共有し、ミーティングで討議したり月1回の勉強会において担当制でテーマを掲げ、研鑽を積んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議に町内会長や公民館長、また、家族の方の参加をいただいております。当施設の理念は理解してもらっていると思う。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 地域の奉仕作業の参加や犬の散歩時などにあいさつしたりの付き合いが出来ている		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 毎月、利用者の金銭管理を行い家族の方へ報告している。また、健康診断の結果報告、個々の体調等報告を行っている。職員の移動についてもその都度、報告できている (外部評価) 地域の中のホームという自覚を持ち、「地域と関わりたい」と、常日頃から機会を捉えて取り組んでいる。地域の運動会には積極的に参加し、夏祭りでも近所の方との交流を図っている。飼い犬の散歩は、近所の方とふれあうきっかけとして重要な機会となっている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 施設や専門的知識を活用し、高齢者のために出来る事はたくさんあるが、実際には何もできていないのが現状である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 出来ている事出来てない事を理解し今後の改善に努めている (外部評価) 全職員で前向きに評価に取り組む姿勢が感じられる。意見を出し合い、施設長を中心にまとめ上げている。前回評価の改善にも積極的に取り組んでいる。	※	今回は職員のレベルアップやサービスの質の向上のためにも、職員一人ひとりが各項目を丁寧に文章で表わし、悩み考えながら相談しあう時間を持つ取り組みにも期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議に町内会長や公民館長、また、家族の方の参加をいただいております。当施設の理念は理解してもらえていると思う		
			(外部評価) 2か月に1回実施し、議事録に参加者・議題・内容などを細かく記録して保存している。施設長は充実した内容を目標に掲げ、アイデアを思案中である。	※	地域の理解や支援を得るための貴重な会議にするため、また利用者へのサービス向上に繋げるため、様々な内容での討議や学習の機会とすることを期待したい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議以外ではあまりあうことがなく、行き来する機会はつくれていない。	※	職員間で話し合いを行い、今後の取り組みを考えていきたい。
			(外部評価) 現在のところ、ホームの運営上大きな課題も無く落ち着いた状態であるが、今後課題が生じるなどして解決を図る際には市担当者に積極的に理解や支援を求めていくことにしている。消防署とは、防災対策について連絡を取り合っている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 地域権利擁護事業や成年後見制度について、職員皆、理解しており必要であれば、活用できる体制にある。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員に周知徹底し防止に努めている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約、解約時に十分な説明をし理解してもらえるよう努めている		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 常に利用者の声を聞き問題解決に努めている。重要事項説明書にも外部者への連絡先等も記載している		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、施設便りや面会時などに個々に報告を行っている (外部評価) 家族がホームを訪れた時には積極的に声をかけ、利用者の暮らしぶりや健康状態について報告している。金銭管理については月1回報告している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設置し意見、苦情などの声を聞き改善できるようにしている (外部評価) 施設長の傾聴する姿勢には安心感があり、家族との対応でも相手の立場に立って接していることがうかがえる。職員との信頼関係が築かれ、相談しやすい雰囲気になるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 常に職員の声を聞ける状態にあり、出た意見は皆で検討し、改善に努めている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者等の状況に合わせて余分人員を増やす、必要な時間帯への勤務変更等の調整を行っている		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 移動は最小限に抑え、利用者への不安がないような体制をとっている。移動になった際は、利用者へ十分な説明を行い不安が最小限に抑えられるよう対応している。 (外部評価) 離職や異動はあるが、声かけなどの職員の配慮により、利用者への影響は見受けられない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 個人に応じ研修会への参加を行ったり、地域で行われる研修会への参加等行っており、職員のレベルアップに努めている。 (外部評価) ホーム内で月1回勉強会を開催したり、ケアマネジャーにアドバイスをもらう機会を設けるなど、職員を育てる取り組みがある。職員の育成に対して深い理解と熱意があり、各職員にふさわしいテーマの研修会への参加を勧め、研修後の記録・伝達も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 同業者と施設見学をしたりお互いの事業に協力し合っている (外部評価) グループホーム連絡協議会の研修参加をきっかけに、他のグループホームとの行き来ができるようになり、交流が深まっている。地域包括支援センター主催の交流会に参加することで相互学習の機会も持て、実践的な学習を日々のケアに活かしている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 勤務時間にリラックスできるよう休憩室を確保したり悩みや人間関係を把握できるようにしている。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員が資格を取れるよう支援し向上心を持って働けるよう努めている		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 利用者の不安なこと求めている事などの声をきき出来るだけ答えるようにしている		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 面会時、電話などでいつでも相談にのり不安なことの無いように努めている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と同様に、事前によく話し合いを行い必要に応じた対応が出来る体制をとっている。入所と違いがある場合は、別のサービスも相談している		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 家族と相談し本人の状態を把握し少しずつ場に馴染めるようにしている (外部評価) まず本人や家族にホームを見学してもらうことから始め、家族には在宅時どのような生活を送っているか等を聞き、利用者がホームに馴染めるよう、信頼関係を築くことに努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 生活の中で趣味や得意な事を把握し困った時に手伝ってもらったりしたり学ばせてもらったりと相互が支えあう関係作りに努めている (外部評価) 人生の先輩である利用者からは、歌・諺・調理方法など生活の知恵を教わる事が多く、「おかげさまで助かります」「勉強になります」など感謝の言葉や表情で表現している。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 行事に参加していただいたり情報交換など時間の共有ができるような関係作りに努めている家族が困った時には、職員が協力し職員も家族に協力を依頼出来る体制にある		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 面会時には、自由に過ごしていただき今まで以上の関係が築いていけるよう配慮している		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 電話や便りなどで連絡したり利用者の行きたい所などを聞き支援に努めている		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同士の関係を把握しレクや手伝いなどで関われるようにし支え合えるように努めている		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所されても関係が保たれるよう、ご家族と連絡を取り合ったり、他医院に行かれた際においても面会に行くなどしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の生活の中で、希望など話を聞き把握できるようにしている (外部評価) 利用者の思いの把握を重視し、日々接する中で気がついたことや希望していることなどを丁寧に汲み取るよう努めている。時間の経過の中で把握できてくることも多く、職員間で共有している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 日常生活で本人、家族から情報収集し生活歴や環境などの把握できるようにしている		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活レベルに応じて、無理なく生活できるようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 計画作成担当者の指示のもと、関係する職員が集まりその方にあった介護計画の作成を介護支援専門員と相談し、本人、家族、必要な方の声を聞き、よりよい生活が出来るよう計画作成している。 (外部評価) 利用者の日常の様子から気づいたことや意見を出し合い、作成している。家族からは来訪時に希望や話を聞き、立案に有効に活かしている。介護計画は記録ノートに貼り付け、いつでも確認できるよう工夫している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 定期的な計画の見直し、また状態に変化が見られた時は、その都度カンファレンスを行い、新たな計画を作成している (外部評価) 介護計画に沿って実施された内容の評価を検討し、継続か見直しかを確認すると共に、要望も付け加えながら時間をかけて取り組んでいる。サービス担当者会議は3か月に1回開催しており、検討、見直しを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日常の様子は、個別に記録している。気づきや状態を記録することで今後の介護計画に役立てている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) リハビリ室や特浴などの設備があり個人の状態に応じて柔軟に支援している。 (外部評価) 「墓参りがしたい」「自宅に帰ってみたい」などの利用者の要望に応じて、多機能性を活かした柔軟な支援に意欲的に取り組んでいる。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域の行事には出来る限り参加しており、よい地域交流になっている。また、運営推進会議にも民生委員、町内会長等参加をいただいております、共に協力しながら支援している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 交流会に参加し、支援していただけるようお願いしている		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 本人の思いに添えるよう必要な時は、地域包括センターに相談にのってもらっている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関や希望するかかりつけ医などと連携し医療を適切に受けられるよう支援している (外部評価) 適切な医療の受診を支援しており、職員が受診に同行し、結果は家族にも報告している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力医療機関との連携により受診、相談など受けられるようになっている		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員が利用者のことをよく知ったうえで健康管理等の支援ができています		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者が入院された際は、小まめに面会に行くなど、常に医師との連携をとり、早期退院にむけ話し合いを行っている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 看取り指針を作成し入所時から家族や医師と話し合い方針を共有している (外部評価) 看取りに関する指針の説明を入居時に行い、同意を得ている。看取りに関する指針による支援を行った経験もあり、職員の自信に繋がっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化の方に対しては、かかりつけ医と入念に話し合いを行い対応している。また、どうしても当事業所に出来ないことが多い場合、医師とも話し合いのもと本人にとって最もよい場所は、どこか、ご家族を交え検討している		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 相手先と十分に話し合いサマリーを作成し統一したケアを受けられるようにし戸惑いや不安がないように努めている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 利用者一人ひとりの生活レベルに応じて入浴、排泄、食事等を行っており出来ない所はさりげなく介助するなどし、プライバシーには十分配慮している。 (外部評価) 居室への入室時には必ず声をかけ、了解を得ている。利用者への声かけは、視線を同じ高さにし、やさしい言葉で行っており、落ち着いた気持ちで会話できるよう配慮している。記録類は、個人情報に配慮して適切に取り扱っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 希望を表せる雰囲気作りに努め声を聞き出来る事は、力になり納得し日常生活が送れるようにしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 日々の生活の中で、強制するのではなく本人の希望を優先し対応できている。 (外部評価) 理念に「その人らしい生活を支援します」とあり、日々のペースに合わせた暮らしができるよう配慮し、穏やかに過ごせるよう支援している。職員は、利用者の希望を取り入れながら、真摯に向き合っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 本人の望む服装や髪型は、本人の意見を聞き訪問理容では、あるが毛染めやパーマなど好みにしてもらっている		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者のの声を聞き入れたメニュー作り、また、外食等行い一人ひとり食事を楽しんでいただけるよう配慮している。また、片付けもしていただける利用者には手伝っていただいている。 (外部評価) 利用者同士が助け合いながら和やかな雰囲気での食事の準備をしている姿を見ることができた。当日のメニューの「さつま芋ごはん」は、ホームの畑で収穫したさつま芋を使っていた。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 好みのものを個々に楽しめるように支援している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 排尿パターンを把握し声かけ、誘導を行い気持ちよく排尿できるようにしている		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴日は決まってはいるが、本人の希望で他の日に変えたり出来るようにしている (外部評価) ホームの特色の1つである機械浴により、車いすの利用者でも入浴を安心して楽しめる。入浴時間は午前(9:00~12:00)と午後(13:00~16:00)に設けており、順番は希望をうかがうようにしている。毎日の入浴も可能であり、声かけの工夫等により拒否のある方も寛いだ気分でゆっくり入浴することができている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 安心して休める空間作りや好きな時にいつでも休んでもらえるようにしている		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 1人ひとりの生活歴を知り役割をもってもらったりカラオケ、買い物などの楽しみや気晴らしを支援している (外部評価) レクリエーション担当者がおり、利用者の希望による楽しみや役割を盛り込んだ年間計画を立て、実施している。外出、外食はストレス発散や気晴らしにも役立っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 外出時に希望者には、お金を持ってもらい自分で好きなものを選び買えるようにしている		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ぎずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 出来る限り個人の要望を聞き入れ、買い物、散歩等戸外に出る支援を行っている (外部評価) 日常的にスーパーに買い物に行ったり、飼い犬と散歩するほか、利用者一人ひとりにふさわしい外出を日課の中に取り入れている。初詣、花見、果物狩り、菊花展、紅葉狩りなど、ホームの大きいバスで行事の外出も行っている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 行きたい場所を聞いたり提案したりして外出の機会を作っている		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 家族の制限が無い限り希望時には、いつでも出来るようにしている		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) ゆっくり過ごしてもらえよう雰囲気作りをしたり自由に面会できる体制をとっている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員皆が十分理解しており正しいケアが出来ているただし、危険を伴う方については、事前にご家族のかたへ説明を行い理解をいただいたうえで期間を決めて実施している		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 居室には、鍵は、なく玄関も日中は、開放している (外部評価) 19時から早朝6時まででは安全面を考慮して施錠している。帰宅願望のある利用者には、職員の見守りや連携で対応したり、一緒に散歩に出かけ、気持ちが落ち着いたら戻ってくるなど、鍵を掛けないケアに取り組んでいる。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 見守りにより利用者の様子や安全に配慮している		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 一人ひとりの状態に応じて説明をし可能な方には、使ってもらえるようにしている		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 勉強会等で知識や対策を学んだりまた事故発生時には、事故報告書を作成し再発しないように職員で話し合い事故防止に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 勉強会やミーティングを行い、急変時の対応や応急処置は職員皆心得ている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に非難訓練を行い非難場所の把握もしている (外部評価) 避難訓練・消火訓練・通報訓練等を年2回行い、夜間想定での訓練も実施している。耐震車体験を計画していたが、天候の関係で実施できなかった。消防署との関わりは深い、地域との連携が十分とは言えない。	※	災害時には地域の協力は必要不可欠であるため、今後は運営推進会議等を通じて協力を求めていくことを期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) リスクに対する説明を家族に説明し本人や家族の意向により抑圧感のないように暮らせるようにしている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎朝、バイタルチェック等により体調の異変の早期発見に努め異変時には、協力医療機関より指示を受け対応できるようにしている		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 職員は、処方薬の目的、副作用を理解しており体調の症状によっては、服薬せずに様子観察するなどしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 便秘の原因や影響を理解し食事、運動、水分など様々な工夫に取り組んでいる		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとりに合わせた口腔ケアを毎食後行っている		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個々に応じて刻みとろみをつけるなど摂取しやすいしている。メニューもバランスのとれたメニューを考えている (外部評価) 食材担当者と栄養士とが、利用者の希望を取り入れながらメニューを作っている。利用者の咀嚼の具合を配慮した切り方や形態となっており、色彩りも美しい食事を提供している。水分も必要量を確保するよう支援している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 予防、対応のマニュアルがあり周知徹底している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所、調理用具は、毎日、消毒を行い衛生管理を行い新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 施設の駐車場や玄関は常に開放し花を植えるなど出入りしやすい雰囲気作りをしている衛生管理の徹底もしている		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 定期的に設備点検をし改善に努めている。生活しやすい部品や季節のものを取り入れている (外部評価) 利用者が集う居間はキッチンからも様子がうかがえる。ユニットごとにいすやソファ等で変化をもたせ、明るく心地良い空間を作っている。広く明るいリハビリ室は、ホームの自慢の1つとなっている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングの様々な所に椅子を置き思い思いの場所でくつろげるようにしている		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室には、使い慣れた物など自由に持ちこんでもらい過ごしやすい空間作りに努めている (外部評価) 家族の協力を得ながらテレビ・使い慣れたタンス・衣類・花などが持ち込まれた居室は、利用者にとってほっとひと息つける空間となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 温度、湿度は、こまめにチェックし換気調整に努めている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	(自己評価) スロープ、段差の解消、手すりの設置により自立した生活を送れるようにしている		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 利用者との会話や行動は記録として残し、他のスタッフにも共有できる体制を作っている。一人ひとりの力を把握して援助の度合を変えながら自立して暮らせるようにしている		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 外周りには、プランターで花を植えたり畑には、季節の野菜を植え利用者と収穫したり活かしている		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の (自己 2 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日常生活や会話から思いを汲み取りアセスメントを行うことにより把握している
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある (自己 2 数日に1回程度ある 評価) 3 たまにある 4 ほとんどない	空いた時間を利用しレクリエーションや談話など利用者と一緒にゆったりと過ごしている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入浴、食事など好きな時間に合わせ一人ひとりのペースで暮らしている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の趣味や希望を把握し合わせた支援をすることで、生き生きとした表情が見られる
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の希望を聞き外食、買い物等行きたい所へ出かけている
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	協力医療機関がありその都度、相談にのってもらい不安なく過ごさせている
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調の変化や気分に応じて支援を調整することで安心、満足に暮らしている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と (自己 ② 家族の2/3くらいと 評価) 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族の希望や思いを聴き信頼関係ができています
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように (自己 ② 数日に1回程度 評価) 3 たまに 4 ほとんどない	地域活動や行事を通じ地域の方が訪ねてくれるようになっている

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進委員会を通して地域との関わりが深まっている
98	職員は、生き活きと働けている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	勤務状況も希望を聞き入れたり食事会などストレス解消する場を設けたりし生き活きと仕事ができるようにしている
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の希望に添えるサービス提供に努める事で、利用者からの感謝の声も聞くことができる
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	本人の暮らしぶりや出来事を報告したり、家族の思いや希望にも添えるよう努めており家族からも暖かく支援していただいている

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

個人個人に応じてリハビリメニューがありリハビリを行うことにより筋力、上下肢の維持、向上を図っている。また、互いの行事に参加することで地域にとけこめてきているので今後、更に交流できる環境を作っていきたい。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 アトラス馬木

(ユニット名) Aユニット

記入者(管理者)
氏名 西岡 明美

評価完了日 平成 20 年 9 月 5 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域の中で共に暮らして行けること、個人の意見を尊重すること、を理念に掲げており、出来る限り地域行事への参加を行っている。 (外部評価) 「個人を尊重し、その人らしい生活を支援します。地域の中で共に暮らしていけるよう支援します。」の理念は、昨年作り変えられた。理念を軸に、利用者を主体として柔軟性のあるサービスの提供に日々努めている。	※	行事がなくても、互いに行き来できる施設にしていきたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念は職員皆心得ており、ミーティングや勉強会を通じ理念への実践に向け取り組んでいる。 (外部評価) 切れ目のない、その人らしくより豊かに生きることが可能な支援ができるよう、職員は理念を理解・共有し、ミーティングで討議したり月1回の勉強会において担当制でテーマを掲げ、研鑽を積んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議に町内会長や公民館長、また、家族の方の参加をいただいております。当施設の理念は理解してもらっていると思う。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 日頃の散歩や近くの公園の掃除をしていく中で、気軽に挨拶が出来る環境が出来つつある。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の年間行事を教えていただき参加できる行事は進んで参加するようにしている。また、地域の方より声もかかるようになってきている。 (外部評価) 地域の中のホームという自覚を持ち、「地域と関わりたい」と、常日頃から機会を捉えて取り組んでいる。地域の運動会には積極的に参加し、夏祭りでも近所の方との交流を図っている。飼い犬の散歩は、近所の方とふれあうきっかけとして重要な機会となっている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 施設や専門的知識を活用し、高齢者のために出来る事はたくさんあるが、実際には何もできていないのが現状である。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 毎年の評価で指摘された箇所は運営者、また、職員等も周知しておりその都度改善に向け、取り組んできている。 (外部評価) 全職員で前向きに評価に取り組む姿勢が感じられる。意見を出し合い、施設長を中心にまとめ上げている。前回評価の改善にも積極的に取り組んでいる。	※	今回は職員のレベルアップやサービスの質の向上のためにも、職員一人ひとりが各項目を丁寧に文章で表わし、悩み考えながら相談しあう時間を持つ取り組みにも期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議に町内会長や公民館長、また、家族の方にも参加していただき、利用者やサービスの実際、評価への取り組みとその結果についても報告を行っている。		
			(外部評価) 2か月に1回実施し、議事録に参加者・議題・内容などを細かく記録して保存している。施設長は充実した内容を目標に掲げ、アイデアを思案中である。	※	地域の理解や支援を得るための貴重な会議にするため、また利用者へのサービス向上に繋げるため、様々な内容での討議や学習の機会とすることを期待したい。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議以外ではあまり接することがなく、行き来する機会はつくれていない。	※	職員間で話し合いを行い、今後の取り組みを考えていきたい。
			(外部評価) 現在のところ、ホームの運営上大きな課題も無く落ち着いた状態であるが、今後課題が生じるなどして解決を図る際には市担当者に積極的に理解や支援を求めていくことにしている。消防署とは、防災対策について連絡を取り合っている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 地域権利擁護事業や成年後見制度について、職員皆、理解しており必要であれば、活用できる体制にある。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待について、職員皆周知しており、防止に向け取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所される前に、十分な説明を行い理解、納得を得て対応できている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 常に利用者の声を聞き入れ、不満、苦情等の声に対し解決できるよう努めている。また、重要事項説明書等には外部者への連絡先等も示している。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、利用者の金銭管理を行い家族の方へ報告している。また、健康診断の結果報告、個々の体調等報告を行っている。職員移動についてもその都度、報告できている。 <hr/> (外部評価) 家族がホームを訪れた時には積極的に声をかけ、利用者の暮らしぶりや健康状態について報告している。金銭管理については月1回報告している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 施設の入り口に意見箱を設置しており、常に意見を聞ける体制にある。また、出た意見は職員間で話し合い、改善していけるよう努めている。 <hr/> (外部評価) 施設長の傾聴する姿勢には安心感があり、家族との対応でも相手の立場に立って接していることがうかがえる。職員との信頼関係が築かれ、相談しやすい雰囲気になるよう配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 定期的にミーティングを行っており常に職員の声を聞ける状態にある。出た意見は皆で検討し、改善に努めている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者等の状況に合わせ、余分人員を増やす、必要な時間帯への勤務変更等の調整を行っている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 移動は最小限に抑え、利用者への不安がないような体制をとっている。移動になった際は、利用者へ十分な説明を行い不安が最小限に抑えられるよう配慮している。 (外部評価) 離職や異動はあるが、声かけなどの職員の配慮により、利用者への影響は見受けられない。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 個人に応じ研修会への参加を行ったり、地域で行われる研修会への参加等行っており、職員のレベルアップに努めている。 (外部評価) ホーム内で月1回勉強会を開催したり、ケアマネジャーにアドバイスをもらう機会を設けるなど、職員を育てる取り組みがある。職員の育成に対して深い理解と熱意があり、各職員にふさわしいテーマの研修会への参加を勧め、研修後の記録・伝達も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 同業者の交流会などへの参加を行い、交流できる機会を持つと共に、サービスの向上に努めている。 (外部評価) グループホーム連絡協議会の研修参加をきっかけに、他のグループホームとの行き来ができるようになり、交流が深まっている。地域包括支援センター主催の交流会に参加することで相互学習の機会も持て、実践的な学習を日々のケアに活かしている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 福利厚生が充実しており、職員への配慮を行っている。また、休みの希望などは、ほぼ100%希望に応えられる体制にある。		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者が各人の実績や勤務状況を把握できるシステムが構築されていると共に、資格取得の為の援助にも配慮してくれるため、各人が向上心を持って仕事に取り組んでいる。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入所前に本人と面会し、よく話し合い、傾聴することにより互いに信頼出来る環境を作っている。利用者の声に出来る限り答えられるよう努めている。		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 本人と同様に、事前によく話し合いを行い必要に応じた対応が出来る体制をとっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と同様に、事前によく話し合いを行い必要に応じた対応が出来る体制をとっている。本人と家族が必要としているものが、それぞれ違っていたり、GHの入所とは違いがある際は別のサービスがあることを知らせ、相談にのっている。		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人の状態を考慮し、家族の協力も得ながら徐々に生活に馴染んでいただいている。 (外部評価) まず本人や家族にホームを見学してもらうことからはじめ、家族には在宅時どのような生活を送っているか等を聞き、利用者がホームに馴染めるよう、信頼関係を築くことに努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 日々の生活や外出、外食を通じ共に楽しめる状態をつくると共に、教えてもらったり、力を貸したりと、互いに学び支え合っている。 (外部評価) 人生の先輩である利用者からは、歌・諺・調理方法など生活の知恵を教わる事が多く、「おかげさまで助かります」「勉強になります」など感謝の言葉や表情で表現している。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 施設の行事にも、ご家族の方に参加していただき、利用者の方と一緒に楽しめる環境をつくると共に、家族が困った時は職員が協力し、職員も家族に協力を依頼できる体制をつくっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 今まで以上のよい関係が保てるよう仲介、支援している。		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人の希望や意見を聞き入れ外出先を選んだり、また、個人的にも出来る限り、望みが叶えられるよう支援している。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 常に全体の把握に努め、互いの関係を考慮したレクリエーション活動への参加等を働きかけ、孤立しない関係づくりを行っている。		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退所されても関係が保たれるよう、ご家族と連絡を取ったり、医療機関に行かれた際においても面会に行くなどしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 毎日の生活の中で、本人の思いや希望を把握し、その思いに添える生活を送っていただけるよう取り組んでいる。 (外部評価) 利用者の思いの把握を重視し、日々接する中で気がついたことや希望していることなどを丁寧に汲み取るよう努めている。時間の経過の中で把握できてくることも多く、職員間で共有している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) センター方式を活用し、入所時にご家族を交え、これまでの生活歴、好きなもの等、情報収集を行い入所されてからの生活に反映して行けるよう支援している。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 一人ひとりの生活レベルに応じて、無理なく生活できるようにしている。休みたいときは、ゆっくりしていただき、食事、入浴等できる配慮は行い、自分のペースで、出来ることをしていただいている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 計画作成担当者の指示のもと、関係する職員が集まりその方にあつた介護計画の作成を介護支援専門員と相談し、本人、家族、必要な方の声を聞き、よりよい生活が出来よう計画作成している。 (外部評価) 利用者の日常の様子から気づいたことや意見を出し合い、作成している。家族からは来訪時に希望や話を聞き、立案に有効に活かしている。介護計画は記録ノートに貼り付け、いつでも確認できるよう工夫している。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 定期的な計画の見直し、また状態に変化がみられた時は、その都度カンファレンスを行い、新たな計画を作成している。 (外部評価) 介護計画に沿って実施された内容の評価を検討し、継続か見直しかを確認すると共に、要望も付け加えながら時間をかけて取り組んでいる。サービス担当者会議は3か月に1回開催しており、検討、見直しを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日常の様子は、個別に記録している。気づきや状態を記録することで、介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) リハビリ室や特浴、畑などがあり個人の状態に応じ、またその時の要望にあわせて柔軟に支援している。 (外部評価) 「墓参りがしたい」「自宅に帰ってみたい」などの利用者の要望に応じて、多機能性を活かした柔軟な支援に意欲的に取り組んでいる。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域の行事には出来る限り参加しており、必要に応じてボランティアへの協力も行っている。また、運営推進会議にも民生委員、町内会長等参加をいただいております、共に協力しながら支援している。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 交流会に参加し、支援していただけるようお願いをしている。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 本人の思いに添えるよう、必要な時に地域包括支援センターに相談ののってもらっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関と連携関係にあり定期健診や、必要に応じた受診を行っている。本人の意見を尊重し入所前からのかかりつけ医に行っていただくなどの配慮もしている。 (外部評価) 適切な医療の受診を支援しており、職員が受診に同行し、結果は家族にも報告している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 協力をいただいている専門医がおり、利用者の状態に応じた対応の相談、また治療を受けられるよう支援している。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員が日常の健康管理を行い、異常があれば医師との相談、連携を行っている。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者が入院された際は、小まめに面会に行くなど安心していただけるよう対応している。また、早期退院に向けて医師、看護師との情報交換、相談を行っている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 入所の際に終末期についての話し合いを行っている。 (外部評価) 看取りに関する指針の説明を入居時に行い、同意を得ている。看取りに関する指針による支援を行った経験もあり、職員の自信に繋がっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化の方に対しては、かかりつけ医と入念に話し合いを行い、対応している。また、どうしても当事業所において出来ないことが多い場合、医師とも話し合いのもと、本人にとって最もよい場所はどこか、ご家族を交え、検討している。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 他院や他施設等に移る際は、相手先と事前に十分な話し合いを行い、サマリーを作成してケアの統一が出来るように対応している。また本人が戸惑うことのないよう努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 利用者一人ひとりの生活レベルに応じて入浴、排泄、食事等を行っており、プライバシーを損ねることのないよう言葉かけや対応に十分配慮している。記録は事務所で行うよう配慮している。 (外部評価) 居室への入室時には必ず声をかけ、了解を得ている。利用者への声かけは、視線を同じ高さにし、やさしい言葉で行っており、落ち着いた気持ちで会話できるよう配慮している。記録類は、個人情報に配慮して適切に取り扱っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 日常の会話や声掛けにより、利用者の思いや希望を聞き入れたり、説明を行い、出来る限り本人の望む生活が出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 日々の生活の中で、強制するのではなく本人の希望を優先し本人の過ごしやすい環境づくりを支援している。外出等も参加希望を聞き、本人の意思を大切にしている。 (外部評価) 理念に「その人らしい生活を支援します」とあり、日々のペースに合わせた暮らしができるよう配慮し、穏やかに過ごせるよう支援している。職員は、利用者の希望を取り入れながら、真摯に向き合っている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 起床時、入浴後には利用者の好む服装が出来るよう職員は配慮している。また、定期的な訪問理容を利用したり、本人の意見を聞き、好みの整容、毛染めやパーマなど行っている。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の声を聞き入れたメニュー作り、また、外食等行い一人ひとり食事を楽しんでいただけるよう配慮している。また、片付け等、出来る利用者には手伝っていただいている。 (外部評価) 利用者同士が助け合いながら和やかな雰囲気での準備をしている姿を見ることができた。当日のメニューの「さつま芋ごはん」は、ホームの畑で収穫したさつま芋を使っていた。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者の声を聞き、その時の飲みたい物、食べたい物の意向に合わせられるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の排泄パターンを職員皆が理解しており、常に汚染することが無いよう心がけている。個人にあわせた誘導、声掛けを行っている。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴日は決まってはいるが、希望に応じ、他の日に変更できる柔軟な体制をとっている。 (外部評価) ホームの特色の1つである機械浴により、車いすの利用者でも入浴を安心して楽しめる。入浴時間は午前(9:00~12:00)と午後(13:00~16:00)に設けており、順番は希望をうかがうようにしている。毎日の入浴も可能であり、声かけの工夫等により拒否のある方も寛いだ気分ですっきり入浴することができている。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 個人の意見を尊重し、ゆっくり過ごせる自由な時間を設けている。就寝時も本人の希望に合わせて声掛け、誘導を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 本人の出来る事、出来ない事を把握しており、簡単な役割を持っていただくことにより、生活に張りを持っていただいている。 (外部評価) レクリエーション担当者がおり、利用者の希望による楽しみや役割を盛り込んだ年間計画を立て、実施している。外出、外食はストレス発散や気晴らしにも役立っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の希望に応じ欲しい物があれば購入できるよう支援している。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 出来る限り、個人の要望を聞き入れ、買い物、散歩等戸外に出る支援を行っている。 (外部評価) 日常的にスーパーに買い物に行ったり、飼い犬と散歩するほか、利用者一人ひとりにふさわしい外出を日課の中に取り入れている。初詣、花見、果物狩り、菊花展、紅葉狩りなど、ホームの大きいバスで行事の外出も行っている。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 個人の要望は出来る限る聞き入れている、皆で行ける所は希望をとって小グループで行き、個別の場合は家族さんの協力を得たりしている。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の訴えがあれば、家族の制限がない限り、その都度対応している。		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 自由に面会していただけるような体制を取っている。各居室で楽しい時間を過ごしていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員皆が充分理解しており、正しいケアが出来ている。ただし、危険を伴う方については、事前にご家族の方へ説明を行い、理解をいただくうえで、期間を決めて実施している。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間、防犯の為施錠を行うが、その他での施錠は行っていない。 (外部評価) 19時から早朝6時までは安全面を考慮して施錠している。帰宅願望のある利用者には、職員の見守りや連携で対応したり、一緒に散歩に出かけ、気持ちが落ち着いたら戻ってくるなど、鍵を掛けないケアに取り組んでいる。		
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 常に見守りが必要なため、本人のプライバシーに配慮しながら各人に合わせた方法で、昼夜通して様子を把握している。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) その人の状態に応じて注意の必要なものは事前に十分説明し、本人の納得のいく方法でこちらで預らせていただいている。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 職員は事故防止のための知識を充分理解しており、利用者一人ひとりの状態を把握し、個々に応じた対応をし、事故防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 勉強会やミーティングを行い、急変時の対応や応急処置は職員皆心得ている。		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に避難訓練、火災訓練、消化訓練など行っており職員皆があらゆる方法を心得ている。近隣のかたには具体的なお願いはしていないが、日頃の施設の行事や地区の行事への参加を行っており、普通にあいさつが出来る関係ができつつある。 (外部評価) 避難訓練・消火訓練・通報訓練等を年2回行い、夜間想定での訓練も実施している。耐震車体験を計画していたが、天候の関係で実施できなかった。消防署との関わりは深い、地域との連携が十分とは言えない。	※	災害時には地域の協力は必要不可欠であるため、今後は運営推進会議等を通じて協力を求めていくことを期待したい。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 一人ひとりに起こり得るリスクについては、その都度家族に対して説明し、出来るだけ抑圧感なく暮らせるよう一緒に対応策を考えている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日のバイタルチェックや、体調把握、入浴時の観察にて異常の早期発見に努めている。変化に気付いた際は、NS、または協力医療機関に連絡し早急に対応できる体制にある。申し送りも確実にやり、職員皆が共有できるようになっている。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者の処方薬について目的、副作用等、職員皆が理解している。自力で服薬出来ない方は介助している。症状に変化が見られた時は、その症状に応じた対応ができるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 職員は皆、便秘が及ぼす影響を理解している。日々の生活を通じ、常に排便には気をつけている。食事については工夫したメニュー作りを行っている。水分摂取にも気を配り、リハビリにて体を動かすよう働きかけている。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 個々に合わせた口腔ケア毎食後行っている、出来ない方は介助し行う。義歯を使用されている方は、週1回の消毒も行っている。		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事の摂取量、水分出納を把握しており、1人ひとりに応じ、刻み食で提供したり、水分も摂取しやすいようにし提供している。 (外部評価) 食材担当者と栄養士とが、利用者の希望を取り入れながらメニューを作っている。利用者の咀嚼の具合を配慮した切り方や形態となっており、色彩りも美しい食事を提供している。水分も必要量を確保するよう支援している。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 各感染症の勉強会を行っており、予防や対応を理解し、マニュアルに添った取り決めを実行している。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板、包丁、調理器具等、排水口など衛生管理は毎日行っており食中毒の予防を行っている。食材については、新鮮で安全な物を選び、使用と管理に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 施設の駐車場や玄関は常に開放されている（夜勤帯を除く）施設の周りには、花を飾ったりしており、ご家族の方、近隣の方、利用者にとっても出入りしやすい環境作りを行っている。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 毎日の掃除により衛生管理を徹底している。トイレには芳香剤を設置し、汚染時には、速やかに消毒、掃除を行っている。温度、湿度、明るさなど環境づくりを工夫している。 (外部評価) 利用者が集う居間はキッチンからも様子がうかがえる。ユニットごとにいすやソファ等で変化をもたせ、明るく心地良い空間を作っている。広く明るいリハビリ室は、ホームの自慢の1つとなっている。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビング、居室等、自由に過ごしていただいている。利用者同士で仲のよいかたは近くで過ごせるような工夫をしている。		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入所の際は、本人のなじみの物の持ち込みをお願いしており本人がなるべく抵抗無く住んでいただけるような環境作りをめざしている。 (外部評価) 家族の協力を得ながらテレビ・使い慣れたタンス・衣類・花などが持ち込まれた居室は、利用者にとってほっとひと息つける空間となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 温度、湿度はこまめにチェックし、換気、調整に十分配慮している。必要時には加湿器、空気清浄機等の使用もしている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 一人一人に応じたテーブルを使用したり、目の見えにくい方にはトイレの近くに居室を設けたり、段差の解消など、それぞれに応じた安全で自立した生活が送れるよう努めている。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 一人一人の出来ること、考え方を把握し援助の度合いを変えながら説明し、混乱を防ぎ、自立して生活できるようつとめている。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 建物の外に畑を作っており、利用者と共に四季折々の野菜の栽培、収穫をおこなっている。また、駐車場は、夏祭りやフリーマーケット等のイベントに活用し利用者共々、楽しく有効に活用している。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価)	① ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日常生活の生活や会話を通じ、利用者の思いを汲み取りアセスメントを行うことにより把握している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価)	① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	個々の居室、またはリビングで談話したり、TVを観たり、レクリエーション(歌、トランプ、しりとり等)を行い、利用者とのかかわりを大切にしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	生活の流れは決まっているが、強制することなく、利用者のペースにあわせ、対応している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の趣味や希望を把握し、それに合わせた対応をすることで、生き生きとした表情や笑顔がみられる。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の希望を聞き入れ、外出、外食、買い物等、出かける場所を考え、行きたい場所へ行けるよう支援している。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の健康管理は毎日行っており、また協力医療機関があり、その都度相談にのってもらっている。利用者は不安なく暮らせる体制にある。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価)	① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	体調の変化や、気分に応じて支援のを調節することで、安心かつ、満足に暮らしていただいている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価)	1 ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族さんの要望、相談はよく聴き、その思いや希望を出来る限り叶えられるよう配慮している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価)	1 ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	地域の活動や行事に参加をしていくことで、少しずつ地域の方々が訪ねて来てくださるようになってきている。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議に町内会長や、公民館長、老人会の方々が参加して下さるようになってきている。地域とのかかわりが深まりつつある。
98	職員は、生き活きと働いている	(自己 ① ほぼ全ての職員が 評価) 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	各スタッフの個性を活かし、役割担当をもつことで意識を高め、向上心を持って働いている。また、出来る限り休みの希望は叶えられる体制にある。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の希望に添えるサービス提供に努めることで、利用者からの感謝の声を聞くことができる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	(自己 ① ほぼ全ての家族等が 評価) 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	本人の暮らしぶりや健康状態を報告したり、家族の思いや希望にも添えるよう努めており、家族からも暖かく見守っていただいている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

協力医療機関の支援、指導により、日常生活の中にリハビリを取り入れQOLの維持、向上に努めている。また、広い畑を利用し利用者、スタッフで四季に応じて種まき、収穫を行っており、野菜作りの楽しさを感じていただいております、生活に張りを持っていただくよう支援している。地域との交流のため、互いの行事に参加することで少しずつではあるが、地域の溶け込んできている。今後、更に互いが行き来できる環境を作っていきたい。